

## 平成29年度

### 事業計画

平成29年度が始まり、4月には5人が中学生に、5人が高校生になりました。入所児童の約6割が中高生で、小学生は10人、幼児は4人でのスタートでした。平成29年度の事業計画は次の通りです。

#### 卒園前後支援

市町村の役割が大きくなる中で、様々な機関等と積極的に協力体制を構築し、実質的な支援の輪を作っています。

究プロジェクトを設置し、家族支援研究を行います。

さらに、これまでには、家庭復帰した児童、卒園した児童に対して児童相談所との連携を

主軸に支援してきましたが、昨年は卒園に向けて個別支援を行いました。

進学支援が充実されることの大大きな前進です。それらを有効活用し、さらに自立が図れるよう人的サポートも充実しなければなりません。

また、昨年は卒園に向けて個別支援を行ってきましたが、同時に集まることが難しかったため、今年度はより個々に合った形を作つて個別支援を行います。

#### 読書の推進

子どもたちが自分自身のことや家族のことなどを考えて整理し、将来を構想していく

ためには言葉の力を育てることが必要との認識のもとに、各ホームでいくつかの言葉の取り組みを行つてきました。これ

海外の子どもへの支援を行つてきました。行つてきたホームがありま

んが、給付型奨学金も拡充され、

進学支援が充実されることの大

きな前進です。それらを有効活用し、さらに自立が図れるよう人のサポートも充実しなければなりません。

また、昨年は卒園に向けて個別支援を行つてきましたが、昨年は卒園に向けて個別支援を行つてきましたが、昨年は卒園に向けて個別支援を行つてきましたが、昨年は卒園

が育てにくいという現状もあることから、誰かのために在る自分、役に立てる自分を感じ、見ず知らずの人への想像力を働かせ、社会の一員としての存在感を感じ取ることをめざします。子ども館との共同事業を含み、NPOとの協力体制を強化してボランティア活動を全園的に広げます。

今までの調査結果もあり、やつてもらうばかりで感謝の気持

# 晴香園だより

題字 山本健治先生

## 第31号

発行

児童養護施設 晴香園  
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145  
電話 047(345)2722  
FAX 047(309)8807  
E-mail:info@s-haruka.org



地域小規模児童養護施設の開設準備

これまで、途中退所した子どもの家族関係の再構築が困難な例が数多くありました。退所後の家庭生活、地域生活支援の在り方について、施設の立場から考え慎重に実践していくことが必要です。

そのため他部門と合同で家族支援の在り方についての研

#### 家族支援の強化

これまで、途中退所した子どもの家族関係の再構築が困難な例が数多くありました。退所後の家庭生活、地域生活支援の在り方について、施設の立場から考え慎重に実践していくことが必要です。

昨年度より全国社会福祉協議会の自立支援資金貸付金制度が始まり、進学者、就職者共に一定期間の金銭援助が得られるようになりました。特に進学者については、学校生活とアルバイトの両立が困難になる子どももあり、その困難さが緩和されることが期待できます。後援会から進学資金を援助頂いていることに加え

#### ボランティア活動の拡大

これまで、途中退所した子どもの家族関係の再構築が困難な例が数多くありました。退所後の家庭生活、地域生活支援の在り方について、施設の立場から考え慎重に実践していくことが必要です。

海外の子どもへの支援を行つてきたホームがありまして。子どもたちは、募金集めに施設中を回つたり、NPOの報告会に参加したりと積極的に取り組みました。協力してくださるNPOの方もいます。ボランティア活動に親し

みをする必要があります。海外の子どもへの支援を行つてきたホームがありまして。子どもたちは、募金集めに施設中を回つたり、NPOの報告会に参加したりと積極的に取り組みました。協力してくださるNPOの方もいます。ボランティア活動に親

#### 職員配置の再編成

児童への支援が円滑に進む

よう、ホーム担当職員に加え、家庭支援専門相談員を複数配置し、心理職員、里親支援専門相談員と共に角度を変えた支援体制を組み、ホームと重層的な支援構造を作れるようにします。





**ホーム全調理開始**

今年度から各ホーム全調理が始まりました。今まで食事を作つてもらつた食事をホームで配膳するという半調理形態をとっていましたが、今年度からは朝昼晩御飯を各ホームで作っています。この全調理を実施している児童養護施設は千葉県内でも数か所しかありません。ホームで作ることできいて献立をたてることができたり、目の前で調理をする人の姿を見ることで食事を作ってくれる人への感謝の気持ちをもつことができたり、食材の買い出しから行なうことで食費の管理の大変さを子どもたちが感じる機会ができました。

また、職員が調理をしていると「自分も切るのを手伝いたい」と言ってくる子や、「一緒に買い物に行きたい」と食材の買い物を手伝つてくれた子もいます。調理や買ひ物と一緒にすることによってコミュニケーションを図る

生活を作つていく経験の積み重ねが社会人となる力をつけていくことにつながると考えています。

**ホーム紹介  
オーシャン**

ある日のホーム調理

機会も増えました。みんなで生活を作つしていく経験の積み重ねが社会人となる力をつけていくことにつながると考えています。

**人気おかず  
BEST3****第1位 コロッケ**

ジャガイモと挽肉と玉ねぎを使用したシンプルなコロッケ。みんな大好き。あつとう間に完食してしまいます。



人気No.1のコロッケ

**第2位 たこやき**

実際にたこやき機を使ってみんなで楽しくおいしく食べています。たこの他にチーズやおもちをいれたオリジナルも人気。



オーシャンのみんなで食べ放題

**食べ放題へ行く**

先日、オーシャンの子どもと担当職員で外食をしました。バイキング形式の食べ放題へ行くのが初めての子もいて、大興奮でした。みんな終始笑顔で、わきあいあいとした雰囲気で楽しく食事をすることができました。

**第3位 カレーライス**

やつぱりカレーは人気。オーシャンでは作る人によって材料が違つたり味が違つたりしていろんなカレーが楽しめます。

普段は、あまり食べない子ももりもりたくさん食べていただき、舌が青くなるまでチョコミントのアイスを食べていたり、それぞれ食べ放題を楽しんでいました。ホーム全員で外出したり外食したりする機

会はなかなか無いので、とても貴重な経験となりました。

**家庭菜園**

オーシャンの階段の下には中1の女の子が作った小さな家庭菜園があります。ミニトマト、ハーブ、万能ねぎが植えられています。今年はミニトマトが豊作でした。綺麗な赤色で甘みが強く、歯ごたえがよくとてもおいしかったです。



育てたミニトマト



---

ご寄付のお願い

社会福祉法人晴香は、家族で暮らせない子どもたちの自立支援と様々な育児サポートを行っています。

社会環境の変化や個人の価値観の多様化に伴い、子どもや家族を取り巻く状況は深刻さを増してきています。そのような中、子どもたちが希望を持ち続けられるように、また将来を見据え、自立できるよう、支援することを目指しています。いただきましたご寄付については、子どもたちの進学する際の学費支援、塾や習い事等に参加するための活動支援、子どもたちの生活を豊かにするための生活支援、また一部の施設整備費等に使わせていただいているます。

皆様の温かいご支援をよろしくお願いします。

まなび基金……………進学者への進学費用に限定した基金です。

後援会(法人/個人) …… 後援会の主旨にご賛同いただいた方に、ご支援をいただいている。

---

お振込先**まなび基金へのご寄付について**

千葉銀行 小金原支店(042)  
口座番号 普通 3580945  
口座名 晴香園後援会 晴香まなび基金

**後援会へのご寄付について**

※法人会員 年会費5,000円以上  
個人会員 年会費2,000円以上でお願いしています。  
みずほ銀行 新宿西口支店  
口座番号 普通 4645936  
口座名 社会福祉法人 晴香 晴香園後援会  
もしくは  
ゆうちょ銀行 口座記号と口座番号 00120-4-356622  
加入者名 晴香園後援会

※寄付金に関する詳細は、下記にお問い合わせください。  
〒270-0011  
千葉県松戸市根木内145  
社会福祉法人 晴香  
TEL.047-345-2722  
FAX.047-309-8807  
E-Mail:info@s-haruka.org

絵画教室に通っていた子どもが  
描いた絵で作りました!

寄付金1,000円で…

晴香園オリジナル大判ハンカチプレゼント!



『モチモチの木』



『ほたるブクロの花』

今年度から、晴香園オリジナル大判ハンカチが新しくなりました。

お弁当包みとして。バンダナとして。スカーフとして。

額に入れて飾ったり、使い方はいろいろ、あなた次第です。



# 晴香園フェスタ 開催のお知らせ

平成29年11月3日金 ※雨天決行  
10:30～13:30

晴香園フェスタは今年10回目の開催となります。  
今年もおいしい食べ物に遊びコーナー、展示コーナーを用意する予定です。  
皆さんお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

当日のお手伝いをしてくださる方を募集しております。  
お手伝い頂ける方はご連絡ください。  
よろしくお願ひいたします。

連絡先 TEL 047-345-2722  
FAX 047-309-8807  
mail info@s-haruka.org

## バザーご協力のお願い

商品販売(バザー)では、例年同様、皆様からご提供いただいた物品の販売を行う予定です。  
ご賛同いただける方の物品提供をよろしくお願い申し上げます。

### バザー商品の受付

\*着払いはお受けしておりません。  
\*誠に勝手ながら、物品は新品に限らせていただきます。  
\*準備等の関係で、受付は10月26日㈭までとさせていただきます。  
\*いただきました品物によっては、販売以外で利用させていただくこともあります。

**宛先** ☎ 270-0011 千葉県松戸市根木内145 児童養護施設 晴香園宛  
※詳細項目に【バザー商品】とご記入ください。



**ハフカイト!!**  
  
 広報担当 辻・大塚  
 も、誰かの力を借りたり、目標を持つた仲間がいると頑張れます。ダメイエットだつたり受験だつたりそれぞれ目標は達つていても、達成する為には努力をすることがかせません。子どもと共に自分も目標達成できるように、日々頑張っていきたいと思います。

自分ひとりじゃできないことで  
なると子どもから「あれ? ダイエットは? その一口、あとで後悔するよ」とぐさりとくる一言。その一言で食べ過ぎをセーブ。子どもはよく見ているしよく覚えています。

何気なく過ぎて行く毎日ですが  
その一日一日が大事なのだと感じる今日この頃です。子ども達にダイエットをすると宣言してからはや2ヶ月。  
食事中ついつい食べ過ぎそうになると子どもから「あれ? ダイエットは? その一口、あとで後悔するよ」とぐさりとくる一言。その一言で食べ過ぎをセーブ。子どもはよく見ているしよく覚えています。

編集後記

